

1 設置目的

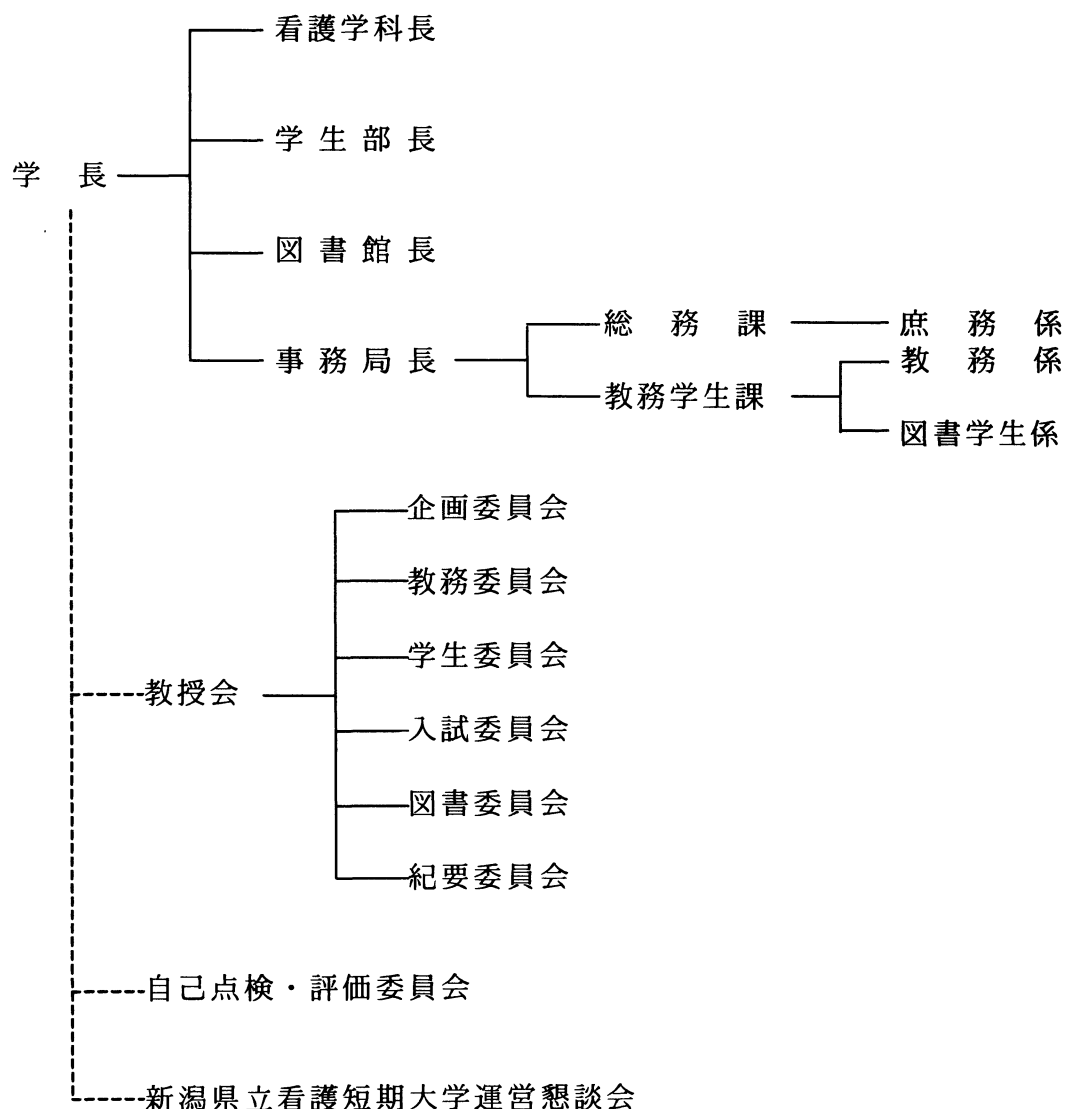
本学は、看護に関する高度な知識及び技術を教授研究し、人間性豊かで、かつ新しい看護ニーズに対応した指導的役割の果たせる人材を育成するとともに、県内の看護関係者に対して研修及び情報提供機能を果たすことにより、本県の保健医療水準の向上と福祉の増進に寄与することを目的とする。

2 沿革

- 平成2年6月 ・「大学等高等教育の推進に関する懇談会」看護系短期大学設置検討意見
- 12月 ・「看護職員確保対策協議会」養成力強化のため、県立短大設置要望「県立看護系短期大学設立検討委員会」設置
- 平成3年3月 ・県立看護系短期大学設立検討委員会「県立看護系短期大学（仮称）設置基本構想」を作成
- 4月 ・県環境保健部総務課県立看護短期大学設立準備室を設置
- 5月 ・県立看護短期大学「上越市設置、平成6年4月開学」知事決定
- 7月 ・「県立看護短期大学設立準備委員会」発足
- 11月 ・「県立看護短期大学基本構想・基本計画」作成
- 平成4年4月 ・県立看護短期大学設立準備室組織強化・用地の買収開始
- 5月 ・基本・実施設計完了
- 10月 ・校舎建設工事着工
- 平成5年4月 ・県立看護短期大学設立準備室組織強化
- ・短期大学設置認可申請書を文部大臣に提出
- 9月 ・看護婦養成学校指定申請書を文部大臣に提出
- 12月 ・文部大臣より短期大学設置認可
- 平成6年1月 ・文部大臣より看護婦養成学校指定 ・校舎建設工事完了
- 4月 ・新潟県立看護短期大学開学 ・第1回入学式挙行
- 5月 ・開学記念式典挙行
- 平成7年3月 ・シンボルマーク制定
- 5月 ・第1回戴帽式挙行
- 平成8年3月 ・校歌制定
- 12月 ・専攻科（地域看護学専攻及び助産学専攻）設置届受理
- ・保健婦学校及び助産婦学校指定
- 平成9年3月 ・第1回看護学科生卒業式挙行
- 平成9年4月 ・専攻科（地域看護学専攻及び助産学専攻）開設
- 平成10年3月 ・第2回看護学科生卒業式、第1回専攻科生修了式挙行

3 大学組織

(1) 大学運営機構



(2) 教職員の状況

① 教員、職員数

ア 専任職員

(平成 11 年 3 月現在)

担当	学長	教授	助教授	講師	助手	計
基礎科目		2人	2人	1人		5人
専門基礎科目	1人	1人				2人
専門科目		5人	5人	12人	12人	34人
計	1人	8人	7人	13人	12人	41人

イ 非常勤講師

(平成 11 年 3 月現在)

担 当	所 属
基 礎 科 目 11 人	<ul style="list-style-type: none"> ・新潟大学 ・上越教育大学 ・国立療養所犀潟病院 ・高田西城病院 ・厚生連上越総合病院 ・市内開業医 ・県立病院、県福祉保健部、県保健所 ・その他
専 門 基 礎 科 目 30 人	
専 門 科 目 18 人	
計 59 人	

ウ 事務局

(平成 11 年 3 月現在)

区 分	局 長	課 長	係 長	主 任	主 事	嘱 託 員 等	計
事 務 局	1 人						1 人
総 務 課		1 人	*1 人	2 人	1 人	1 人	6 人
教 務 学 生 課		(1 人)	*1 人 1 人	1 人	2 人 司書 1 人	3 人	9 人
計	1 人	1 人	3 人	3 人	4 人	4 人	16 人

※ () は兼務、*係長は副参事

② 専任教員名簿

(平成 11 年 3 月現在)

職 名	氏 名	主 要 担 当 科 目
学 長	斎 藤 秀 晃	医 学 概 論 看 護 学 特 論 II
看 護 学 科 長	加 藤 光 實	看 護 学 概 論 臨 床 看 護 総 論
教 授	小 野 澤 康 子	成 人 看 護 学 概 論 成 人 保 健
//	田 中 キミ子	老 人 看 護 学 概 論 成 人 看 護 学 実 習 III・IV
//	伊 藤 セツ子	母 性 看 護 学 概 論 母 性 看 護 学 実 習 I・II
//	杉 田 収	生 化 学 ・ 化 学 統 計 学
//	中 野 正 春	解 剖 生 理 学 病 態 学 III
//	佐 々 木 美 佐 子	地 域 看 護 学 地 域 看 護 学 概 論
//	関 谷 伸 一	生 物 学 解 剖 生 理 学

職名	氏名	主要担当科目
助 教 授	長 野 勝	精 神 臨 床 看 護 学 精 神 保 健
//	山 本 誠 一	心 理 学 臨 床 心 理 学
//	小 林 ミチ子	基 礎 看 護 技 術 基 礎 看 護 学 実 習 I
//	中 村 博 生	英 語 I ・ II ・ III
//	村 山 陵 子	臨 床 助 産 学 助 産 診 断 技 術 学 II ・ III
//	小 林 優 子	成 人 臨 床 看 護 学 I 臨 床 看 護 学 実 習 I
//	秋 山 智 弥	臨 床 看 護 学 総 論 成 人 看 護 学 実 習 I
講 師	金 子 史 代	臨 床 看 護 総 論 成 人 臨 床 看 護 学 III
//	秋 山 啓 子	小 児 保 健 学 小 児 臨 床 看 護 学
//	山 田 洋 子	臨 床 看 護 総 論 成 人 臨 床 看 護 学 IV
//	水 口 陽 子	老 人 臨 床 看 護 学 老 人 看 護 学 実 習
//	小 林 美 代 子	母 性 臨 床 看 護 学 助 産 診 断 技 術 学 IV
//	矢 坂 陽 子	地 域 看 護 技 術 論 I 地 域 看 護 技 術 論 演 習
//	小 林 恵 子	地 域 看 護 技 術 論 II 地 域 老 年 保 健 学
//	島 村 澄 江	成 人 臨 床 看 護 学 II 成 人 看 護 学 実 習 II ・ III
//	平 澤 則 子	地 域 看 護 技 術 論 III 地 域 成 人 保 健 学
//	渡 邊 典 子	母 性 保 健 学 分 娩 介 助 技 術 学
//	飯 吉 令 枝	地 域 看 護 学 地 域 看 護 技 術 論 演 習
//	渡 辺 弘 之	社 会 学 社 会 福 祉 原 理
//	安 田 かづ子	小 児 看 護 学 概 論 小 児 看 護 学 実 習
助 手	山 田 正 実	基 礎 看 護 学 実 習
//	大 久 保 明 子	基 礎 看 護 学 実 習
//	宮 越 幸 代	基 礎 看 護 学 実 習

職名	氏名	主要担当科目
助手	西脇洋子	基礎看護学実習
//	石澤信人	基礎看護学実習
//	山際和子	基礎看護学実習
//	井上正美	基礎看護学実習
//	古川亮子	基礎看護学実習
//	斎藤智子	基礎看護学実習
//	和田佳子	基礎看護学実習
//	太田和美	基礎看護学実習
//	福原紀	基礎看護学実習

③ 非常勤講師名簿

(平成11年3月現在)

氏名	担当科目	所属等
太田昌秀	保健体育(実技)	上越教育大学 教授
神成嘉光	法学	上越教育大学 教授
前川幸雄	中国語I・II	上越教育大学 教授
砥堀雅信	保健体育(講義)	上越教育大学 教授
川島章弘	情報科学概論・演習	上越教育大学 教授
澁谷久	科学史	上越教育大学 教授
藤澤郁夫	哲学	上越教育大学 教授
若井彌一	教育学	上越教育大学 教授
山本保	機能集団の保健管理	上越教育大学 教授
三浦望慶	運動科学	上越教育大学 教授
西山保子	物理学	上越教育大学 教授
下西善三郎	文学	上越教育大学 教授
立屋敷かおる	栄養論	上越教育大学 助教授

氏 名	担当科目	所 属 等
安 田 尚	看護学特論Ⅳ	上越教育大学 助教授
大 森 康 正	情報管理学	上越教育大学 講師
光 永 伸一郎	栄養学	上越教育大学 助手
寺 尾 通 徳	微生物学	新潟県保健環境科学研究所 専門研究員
横 山 和 彦	福祉行政論・保健医療経済論	新潟大学経済学部 教授
末 山 博 男	放射線医学	県立中央病院 放射線科部長
三 浦 まゆみ	母性の精神衛生	新潟大学保健管理センター 講師
林 茂 信	精神保健	国立療養所犀潟病院 名誉院長
武 内 廣 盛	精神病態学	国立療養所犀潟病院 精神科医長
石 井 敏 弘	健康政策論	国立公衆衛生院 主任研究員
石 田 道 雄	遺伝学	厚生連上越総合病院 産婦人科医長
川 室 優	老年期病態学	高田西城病院 院長
吉 岡 光 明	病態学Ⅲ（内分泌）	吉岡内科クリニック
佐 藤 昭 雄	病態学Ⅳ（歯科）	佐藤歯科医院
石郷岡 泰	行動科学	特別養護老人ホーム国見苑 苑長
花 沢 成 一	母性の精神衛生	日本大学文理学部 教授
長 尾 悟	国際関係論	東洋学園大学人文学部 教授
中 島 大 住	文化人類学	
古 川 素 子	臨床栄養学	
村 川 英 三	看護学特論Ⅲ	県立中央病院 院長
峯 山 浩 忠	病態学Ⅱ（泌尿器）	県立中央病院 副院長
阿 部 惇	病態学Ⅰ（血液・造血器）	県立中央病院 診療部長
土 田 正	病態学Ⅱ（脳神経）	県立中央病院 診療部長
小 林 理	病態学Ⅰ（呼吸器）	県立中央病院 内科部長
政 二 文 明	病態学Ⅰ（循環器）	県立中央病院 内科部長
内 藤 彰	病態学Ⅰ（消化器）	県立中央病院 内科医長
山 崎 国 男	病態学Ⅰ（消化器）	県立中央病院 内科部長

氏名	担当科目	所属等
永井孝一	病態学Ⅰ（血液・造血器）	県立中央病院 内科部長
丸山雄一郎	病態学Ⅱ（腎臓）	県立中央病院 内科部長
佐藤健比呂	病態学Ⅱ（消化器・膠原病・感染症）	県立中央病院 内科医長
五十嵐良一	病態学Ⅱ（皮膚科）	県立中央病院 皮膚科部長
大島晃	病態学Ⅳ（眼科）	県立中央病院 眼科医長
丸橋敏宏	生殖病態学	県立中央病院 産婦人科部長
浦野正美	病態学Ⅳ（耳鼻咽喉科）	県立中央病院 耳鼻科医長
須田昌司	小児期病態学	県立中央病院 小児科医長
丸山茂	助産診断技術学Ⅳ	県立中央病院 小児科医長
渡辺渡	地域母子保健学・乳幼児保健学	県立妙高病院 院長
山口正俊	薬理学	県立柿崎病院 薬剤部長
曾根啓一	保健行政論	新潟県福祉保健部 部長
千村浩	保健行政論	新潟県福祉保健部健康対策課 課長
松井一光	保健統計学	新潟県福祉保健部健康対策課 参事
後藤雅博	地域精神保健学	新潟県精神保健福祉センター 所長
上村桂	疫学・環境保健論	新潟県六日町保健所 所長
西脇京子	公衆衛生学	新潟県糸魚川保健所 所長
大村紘一	関係法規	新潟県上越保健所 所長
荒川和浩	関係法規	新潟県あけぼの園 園長

④ 事務職員名簿

(平成 11 年 3 月現在)

配 置	職 名	氏名
事 務 局	事 務 局 長	田 中 宏 樹
総 務 課	総務課長兼教務学生課長	田 中 俊 雄
	副 参 事 (庶 務 係 長)	新 保 春 樹
	主 任	高 橋 直 子
	主 事	本 間 徹
	//	内 山 志 織
	嘱 託 員	佐 藤 直 美
教務学生課	教 務 係 長	村 松 良 雄
	主 事	渡 部 靖 彦
	主 事	岡 本 剛
	嘱 託 員	関 根 加 代 子
	図 書 学 生 係 長	中 島 恒 光
	主 任	樋 口 芳 子
	司 書	吉 原 貴 子
	嘱 託 員	羽 生 田 崇
	//	太 田 尊 文
	//	秦 野 忠 男

⑤ 教員の転入転出一覧表

(転入者)

職名	氏 名	前 所 属	年月日
助 教 授	山 本 澄 子	徳島大学医療技術短期大学部	11. 4. 1
講 師	熊 倉 みつ子	独協医科大学附属看護専門学校	//
助 手	小 池 潤		//
//	岡 村 典 子	新潟県立中央病院	//
//	島 田 有 子	宮城大学	//
//	布 施 幸 子		//

(転出者)

職名	氏名	転出先	年月日
教授	伊藤 セツ子	新潟県退職	11. 3. 31
助教授	山本 誠一	宇都宮大学	11. 4. 1
//	村山 陵子	埼玉県立大学	//
講師	矢坂 陽子	上越テクノスクール	//
//	島村 澄江	新潟県退職	11. 3. 31
助手	宮越 幸代	//	//
//	石澤 信人	療養所悠久荘	11. 4. 1
//	山際 和子	福祉保健部福祉保健課	//
//	井上 正美	新潟県退職	11. 3. 31
//	古川 亮子	新潟県退職	11. 3. 31

⑥ 事務局職員の転入転出一覧表

(転入者)

職名	氏名	前所属	年月日
教務係長	村松 良雄	関川災害復旧用地事務所	10. 10. 9
庶務係長	杉田 省五	上越財務事務所	11. 4. 1
主任	金澤 昌美	高田高校	//
主事	内田 恵子	上越保健所	//

(転出者)

職名	氏名	転出先	年月日
教務係長	池田 正直	新井砂防事務所	10. 10. 9
庶務係長	新保 春樹	新潟財務事務所	11. 4. 1
主任	樋口 芳子	県立中央病院	//
主事	内山 志織	新潟県退職	11. 3. 31

4 施設の概要

・施設面積	40,082 m ²		
・建物面積	鉄筋コンクリート造3階建	校舎棟	8,781 m ²
		体育館棟	1,323 m ²
		計	10,104 m ²

(主な施設)

管理研究棟	学長室、事務局、研究室29、看護学実験室、会議室3、学生食堂
図書館棟	図書館(6万冊所蔵可能)、LL教室(ブース56台) 情報科学教室(パソコン52台)
教育棟	講義室8、合同講義室2、実習室6、実験室2、演習室4
体育館棟	体育館(講堂兼用)、サークル室5、心理相談室
グラウンド	200mトラック、ソフトボール場、テニスコート2面
駐車場	第1、第2駐車場(170台駐車可能)

5 予算の状況(10年度当初)

(単位：千円)

事業名		予算額	事業名	予算額
教職員給与費		402,414	教育研究費	34,275
維持管理費		51,215	非常勤講師報酬等	17,868
運営費	運営費	40,016	公開講座事業費	118
	各種会議開催費	73	実習指導者養成委託費	674
	各種団体負担金	535	教員派遣事業費	1,177
事務費	入学試験費	5,115	共同研究事業費	3,800
	図書館費	9,853	臨床実習指導費	7,346
	設備充実費	12,362	学内ネットワーク構築費	7,492
			合計	594,333

6 主要行事

(1) 学年暦

学 期	事 項	日 程
前 期	入 学 式	4月 6日 (月)
	学内ガイダンス	4月 7日 (火)
	健 康 診 断	4月 7日 (火) ~ 4月 8日 (水)
	学外ガイダンス (看護学科1年)	4月 8日 (水) ~ 4月 9日 (木)
	前期授業開始	4月 8日 (水)
	開学記念日	5月 8日 (金) 休 講
	戴 帽 式	5月 12日 (火) 休 講
	夏 季 休 業	7月 11日 (土) ~ 8月 31日 (月)
	前 期 試 験	9月 7日 (月) ~ 9月 29日 (火)
	補 講	9月 30日 (水)
後 期	後期授業開始	10月 1日 (木)
	大学祭準備	11月 20日 (金) 休 講
	大 学 祭	11月 21日 (土)
	冬 季 休 業	12月 21日 (月) ~ 1月 10日 (日)
	後 期 試 験	2月 1日 (月) ~ 2月 19日 (金)
	補 講	2月 8日 (月) ~ 3月 19日 (金)
	卒 業 式	3月 12日 (金)
	春 季 休 業	3月 21日 (日) ~ 3月 31日 (水)

(2) 主要行事等の概要

① 入学式

看護学科第5期生100人、専攻科第2期生59人を迎える入学式が、本間出納長を始め多くの来賓の出席をいただき、4月6日(月)午前10時30分から本学の体育館で挙行された。

② 戴帽式

5月12日(火)に、県立中央病院長ほか実習施設の方々を来賓に迎え、本学として第4回目の戴帽式が体育館で行われた。

3年生から戴帽生(2年生)1人1人にキャッピングが行われ、看護の灯を引き継いだキャンドルを胸にステージに並び、自分達で考えた「誓いの言葉」を全員で述べた後、加藤学科長の訓辞、斎藤学長の式辞や来賓の祝辞を受けた。

式終了後、体育館で教員や先輩を交えて祝賀会が行われ、看護学生としての節目を祝った。

<誓いの言葉>

私たちはこの一年間で、身体的ニードの充足、環境を整備すること、精神的に励ますこと、勇気づけること、心理的援助、社会復帰への援助など、看護学を学んできました。

これからの臨地実習では、対象を理解し、知識に基づいて観察し、暖かい援助を提供し、自らにとっても悔いのないよう、精一杯努力し、またそこから学びつづけます。
経験を余すところなく吸収し、自信に満ちた看護を目指します。

私たちは、21世紀の看護を担うものとして、看護をうける側のニードを理解し、援助することを学び続けます。

看護の知識・技術・態度を磨き、基礎知識を確実なものとし、本学の学生であることを誇りとして、実践に優れた看護婦になることを、皆様の前に誓います。

③ 運営懇談会

開学後 5 回目の運営懇談会が平成 10 年 10 月 26 日に行われ、本学側から大学の当面する課題として、1.自己点検評価の実施 2.シラバスの編成 3.国家試験対策について 4.就職・進路指導の充実 5.入試方法の再検討 6.コンピュータネットワークシステム利用にかかる規則の整備 について説明した後に、ア. 高度な看護教育のめざすべき方向について イ. 今後の看護教育について ウ. 大学の公開について エ. 看護技術系の情報基地としての本学図書館の役割について オ. インターネットの活用について カ. 看護婦・保健婦・助産婦の今後の需給見通しについてのテーマで意見交換を行った。

④ 卒業式・修了式

本年度は、看護学科第 3 期生 97 人と専攻科第 2 期生 59 人（地域看護学専攻 45 人、助産学専攻 14 人）を送り出す卒業式及び修了式が本間出納長を始め、県看護協会 塩谷会長、実習施設代表の県立中央病院 村川院長、非常勤講師でお世話になっている上越教育大学 加藤学長の祝辞や多くの来賓の出席をいただき、3 月 12 日（金）午前 10 時から本校の体育館で厳粛な雰囲気の中で挙行された。

前日の雪が真っ白に輝くなか、卒業生の晴れやかな希望に満ちた姿が印象的であった。

7 教 育

(1) 教育目標とカリキュラムの概要

本学の教育は、生命への畏敬の念をもつことと人権尊重を基本理念とし、科学性・合理性と豊かな人間性及び柔軟な感性をもつ看護の専門家を育成することを目的とする。カリキュラムは広い視野と柔軟な感性で看護の対象に対応できる能力、進歩発展する医療技術に対応できる基礎的な看護実践力及び看護学の発展や看護技術の向上に貢献できる研究能力の基礎を養い、更に保健・医療・福祉チームの一員として関連職種と連携し協調して看護の役割を果たす能力を育てることを目標とし構成されている。平成9年度からカリキュラム改正に伴う現カリキュラム改正のために、カリキュラム改正委員会を設立し、平成11年度から新カリキュラムによる教育を行うため、1年間の検討を経てその手続きを完了した。

現行カリキュラムは大別すると基礎科目と専門基礎科目及び専門科目からなる。基礎科目及び専門基礎科目の多くは、1年次及び2年次で開講し、看護の対象となる人間を生物学的・心理学的・社会的側面から理解することと、専門科目につながる基礎的知識を教授する。

専門科目は、基礎看護学、成人看護学、老人看護学、母性看護学、小児看護学、精神看護学ならびに地域看護学があり、それぞれの科目には臨床実習科目が加わっている。専門科目は3年間にわたって開講するが、1学年から2学年前期まで及び3学年後期は主に講義、演習で教授し、2学年後期から3学年前期では病院・施設・保健所・保育所・地域で臨床実習を行う。

また、情報処理技術の習得を図るため、コンピューター操作のオリエンテーションを入学時に行い各科目のレポート作成に活用し、更に統計学、情報科学概論及び演習、看護過程演習などの科目で積極的にコンピューターによる授業を展開する。

(2) 臨床実習教育について

臨床実習科目は、看護教育カリキュラムにおいて重要な科目であり、知識と実践を統合する科目である。臨床の場での体験学習によって科学的な思考や判断能力を養い、看護基礎技術を習得させ自主的・創造的な学習能力を啓発する。

また、臨床実習教育に際し、開学時より臨床実習プロジェクトで作成した実習要項により、実習指導方法を検討するとともに、実習施設との連絡調整および実習事例の検討会などを行ってきた。本年よりこの臨床実習プロジェクトは、教務委員会に移行させる項目を整理して、臨床実習調整委員会として活動している。

開学以来、臨床実習指導者講習会に実習施設より毎年研修生を派遣している。また実習施設の院内教育に、教員を派遣するなど努めている。

8 学生に関する状況

(1) 在籍学生数（県内、県外別）

（平成 11 年 3 月現在）

① 看護学科

	県内	県外	合計
1年	64人	37人	101人
2年	73人	25人	98人
3年	76人	23人	99人
合計	213人	85人	298人

② 専攻科

	県内	県外	合計
地域看護学専攻	32人	13人	45人
助産学専攻	11人	3人	14人
合計	43人	16人	59人

(2) 入学試験の状況

① 看護学科一般試験（募集人員 70 人）

年 度		応募者数	受験者数	合格者数	入学者数
平成9年度	総 数	250	199	81	70 (1)
	県 内	125	106	43	43
	県 外	125	93	38	27 (1)
平成10年度	総 数	348	266	79	70 (3)
	県 内	160	124	37	34
	県 外	188	142	42	36 (3)
平成11年度	総 数	264	210	80	70
	県 内	119	105	27	34
	県 外	145	105	53	36

【注】 上記表の（ ）は男子を内数で示す。

② 看護学科推薦入試（募集人員 30 人 県内高校の3年生のみ）

年 度	応募者数	受験者数	合格者	入学者数
平成 9 年度	89	89	30	30
平成 10 年度	85	84	30	30 (1)
平成 11 年度	80	80	30	30 (1)

【注】 上記表の（ ）は男子を内数で示す。

③ 専攻科地域看護学専攻一般試験（募集人員 23 人）

年 度		応募者数	受験者数	合格者数	入学者数
平成 9 年度	総 数	107	95	24	23
	県 内	49	48	10	11
	県 外	58	46	14	12
平成 10 年度	総 数	148	126	24	23
	県 内	53	50	8	14
	県 外	95	76	16	9
平成 11 年度	総 数	152	127	23	23
	県 内	53	48	3	15
	県 外	99	79	20	8

④ 専攻科地域看護学専攻推薦入試（募集人員 22 人 県内のみ）

年 度	応募者数	受験者数	合格者	入学者数
平成 9 年度	47	47	22	22 (1)
平成 10 年度	46	45	22	22 (1)
平成 11 年度	50	49	22	22

【注】 上記表の（ ）は男子を内数で示す。

⑤ 専攻科助産学専攻一般試験（募集人員 8 人）

年 度		応募者数	受験者数	合格者数	入学者数
平成 9 年度	総 数	37	32	8	8
	県 内	25	24	4	4
	県 外	12	8	4	4
平成 10 年度	総 数	38	34	8	7
	県 内	19	18	5	5
	県 外	19	16	3	2
平成 11 年度	総 数	49	48	8	8
	県 内	23	22	3	6
	県 外	26	26	5	2

⑥ 専攻科助産学専攻推薦入試 (募集人員 7人 県内のみ)

年 度	応募者数	受験者数	合格者	入学者数
平成 9 年度	23	20	7	7
平成 10 年度	26	26	7	7
平成 11 年度	15	15	7	7

(3) 奨学金等の貸与の状況

(平成 11 年 3 月現在)

日 本 育 英 会			新潟県奨学金	新潟県看護職員修学資金	他 県
一 種		二 種	県教育委員会 月額 32,000 円	県福祉保健部福祉保健課 特別 月額 32,000 円 一般 // 16,000 円	富山県 山形県
自宅生	自宅外生	自宅外生			
7 人	57 人	5 人	2 人	84 人	9 人

(4) 心理相談 (学生相談)

95 年 4 月より、心理カウンセリングなど本学学生への心理的援助サービスを目的とした心理相談部門が、学生相談の一部門として組織された。それに伴い設置された「心理相談室 (兼心理学準備室)」にて、心理相談担当教員 (山本助教授) がカウンセリングや心理判定などの心理相談業務に当たり、98 年度で 4 年目となった。98 年度も前年同様、毎週月曜日 (開室 9:00~閉室 17:00) の 1 日 5 回セッション (1 セッション約 50 分) の予約制のもとで行なわれた。全学生の概ね 5% にあたる学生 (開室年度からの平均) が、青年期アイデンティティに関わる問題や対人的な悩み、不安、学習意欲減退などの心理相談で、本室を利用し効果をあげている。

9 図 書 館

(1) 概 要

① 図書館の各種方針

本学の図書館機能は、その教育活動方針にのっとり、1) 学習支援、2) 研究支援、3) 地域の看護・福祉関係者への情報提供という 3 つの柱を基に構築されている。

第 1 の学習支援については、看護学関係の学習図書の実充を考え、次にその関連分野である医学、自然科学一般、統計学等に関する図書を整備してきた。また、豊かな人間性の涵養を目指して、文学など教養関連の書物、及び新聞と週刊・月刊の一般雑誌の導入を行った。これらの図書とは別に、ビデオ、LD、CD、カセットテープおよび CD-ROM などマルチメディア製品の購入を図った。

第 2 の研究支援では、看護学の学術情報、特に文献情報サービスの充実を図った。平成 10 年度現在で、図書館全体では 156 種類の各種雑誌を所蔵しているが、そのうち看護系の

雑誌は 68 種類を数えた。書誌情報誌としては、医学中央雑誌と日本看護関係文献集 International Nursing Index (INI)、Cumulative Index to Nursing & Allied Health Literature (CINAHL)及び Current Contents (Life Sciences)を備えた。

第 3 の地域の看護・福祉関係者への情報提供という、開かれた図書館を目指しての活動は、従来の方針どおり、看護や福祉関係等の学外者の学習と研究支援を目的に、図書の閲覧と貸出を行った。平成 10 年度に新規登録をした学外者は 96 名であり、年々利用者が増加している。

② 情報検索

図書、資料等の不足を補うため、次の機器・文献検索システム等を整備している。

- ・ 学術情報センターとのオンライン文献検索 (NACSIS-IR)
- ・ 県立図書館とのオンライン書誌情報の検索
- ・ 県図書館協議会加盟各図書館との相互貸借
- ・ 医学中央雑誌 CD-ROM 版による検索
- ・ CURRENT CONTENTS フロッピーディスク版による最新文献検索

③ コンピュータシステムの活用

次の図書館業務の効率化を図るため、コンピュータを導入している。

- ・ 貸出原簿 ・ 利用者登録 ・ 蔵書管理 ・ 図書検索 ・ 原簿、目録の印刷
- ・ 統計処理 ・ 学内LANを利用しての文献コピーサービス受付

④ 開館延長時間の実施

昨年度に引き続き、下記のように開館時間を延長した。

月曜日から金曜日 (大学の休業日を除く) 9:00~19:30

土曜日 (祝祭日と大学の休業日を除く) 9:30~16:30

(2) 今後の整備方針

当館は看護の専門図書館として、引き続き看護、医療関連の図書・学術雑誌の充実を図りたい。さらに平成 11 年度以降は、以下の事業を予定している。

①学術情報センターの目録所在情報サービスへの参加

②マルチメディア閲覧の充実

③医学中央雑誌 CD-ROM 版によるオンライン検索システムの整備

また、将来的にはインターネットに蔵書データを公開し、学外からも検索できるように整備していきたい。

(3) 蔵書構成

区 分	蔵 書 冊 数	雑 誌 種 類	視聴覚資料点数
総 記	613	3	0
哲 学	1,083	2	34
歴 史	537	1	4
社 会 科 学	3,908	14	65
自 然 科 学	14,241	130	605
技 術	470	2	21
産 業	107	0	0
芸 術	712	2	207
言 語	1,147	1	4
文 学	1,369	1	13
計	24,187	156	953
内 訳	和書	22,256	日本語 135
	洋書	1,931	外国語 21

(4) 図書館利用サービス

入 館 者 数		57,541 人 (内学外利用者 936 人)	
館外貸出	学 生	4,740 人	10,725 冊
	教職員・その他	1,032 人	2,489 冊
	計	5,772 人	13,214 冊
視 聴 覚 資 料		505 人	840 点
学外者利用カード登録者数		279 人 (平成 11 年 3 月 31 日現在)	

その他

① 文献検索	CD-ROM 検索	98 件
	NACSIS-IR 代行検索	16 件
② 相互貸借業務	他館への依頼	328 件
	// からの受付	27 件

10 教員の研究・研修活動

(1) 研究業績

① 論文

(本学教員は下線表示)

題 名	氏 名	雑誌名・巻(号)・頁	年	* 所属
心臓手術後の経時的心理変化と社会要因との関連性の検討	*石井由江 加藤光實 ほか	日本心臓血管リハビリテーション学会誌 3(1), 116-117	1998	心臓血管研究所附属病院
看護者の死に対するイメージに関する研究－「患者の死のイメージ」と「自分の死のイメージ」の検討－	田中キミ子 *柳 則子 水口陽子 山田洋子	新潟県立看護短期大学紀要 4, 83-92	1998	上越総合病院
手術におけるインフォームド・コンセントの検討－手術を前にした患者の望んでいること－	田中キミ子 ほか	新潟県立看護短期大学紀要 4, 135-141	1998	
高齢社会に対応した住居と住環境－トライハウスの基本構想の提案－	杉田 収 関谷伸一 *水戸美津子 西脇洋子 山際和子 小林恵子 安田かず子 斎藤智子 佐々木美佐子 ほか	新潟県立看護短期大学紀要 4, 29-36	1998	山梨県立看護大学
神経束叢の複雑さはどのように表されるか	関谷伸一 ほか	新潟県立看護短期大学紀要 4, 3-8	1998	
青年期の自己実現(個性化)志向に関する不安(その4)－中学生の自分らしさ形成に伴う不安の因子分析的検討－	山本誠一 中村博生	新潟県立看護短期大学紀要 4, 47-52	1998	
青年期の自己実現(個性化)志向に関する不安(その5)－中学生の自分らしさ発現に関する2種不安と成長不安・自尊感情との関連－	山本誠一	新潟県立看護短期大学紀要 4, 53-60	1998	
深層心理学から見た援助者と被援助者のコミュニケーション(関係性)の諸相とその特質	山本誠一	新潟県立看護短期大学人間科学研究会誌 人間科学研究 1, 63-74	1998	
音変化の口頭練習が日本人中学生の聴解力に及ぼす影響	中村博生	新潟県立看護短期大学紀要 4, 21-27	1998	
学習集団における学習者間のインターアクションを活性化する要因－中学生の英語で積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度育成の視点から－	中村博生 山本誠一	新潟県立看護短期大学紀要 4, 9-20	1998	

コミュニケーション指導と生徒指導的配慮	<u>中村博生</u>	新潟大学教育人間科学部英語学会 REUNION 30, 53-58	1998	
英語科教育における小集団学習とコミュニケーション活動－中学生の班学習とインターアクション（事例研究）－	<u>中村博生</u> ほか	コミュニケーション・ティーチング研究会紀要 5, 23-31	1998	
語彙学習ストラテジーに関する基礎的研究	* <u>廣瀬浩二</u> <u>中村博生</u>	コミュニケーション・ティーチング研究会紀要 5, 45-52	1998	明倫短期大学
EFL 教室におけるコミュニケーション促進の要因－英語で積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度の育成－	<u>中村博生</u>	新潟県立看護短期大学人間科学研究会誌 人間科学研究 1, 23-62	1998	
分娩室における産婦の緊張緩和をどう行なっているか－500床以上の病院での実態調査から－	<u>村山陵子</u> <u>渡邊典子</u> ほか	助産婦雑誌 52(8), 716-720	1998	
産褥期の尿失禁に関する調査<第1報>－分娩前後の尿失禁の実態と要因についての調査－	<u>村山陵子</u> <u>山田正実</u> ほか	母性衛生 40(1), 38-45	1999	
心臓カテーテルによる検査及び治療を受ける患者へのオリエンテーションの実態調査－第1報－	<u>金子史代</u> <u>小野沢康子</u> <u>山田洋子</u> <u>島村澄江</u> <u>山際和子</u> ほか	新潟県立看護短期大学紀要 4, 61-73	1998	
病院看護婦の「高齢者の性」に対する気持ちと対応に関する分析－「高齢者の性」に関する研究(4)－	<u>秋山啓子</u> <u>島村澄江</u> ほか	新潟県立看護短期大学紀要 4, 153-163	1998	
保健婦学生の生活の振り返りとセルフケア能力獲得のプロセスを評価して－健康教育技術演習の評価と今後の課題－	<u>平澤則子</u> <u>斎藤智子</u> <u>矢坂陽子</u> <u>小林恵子</u> <u>佐々木美佐子</u>	新潟県立看護短期大学紀要 4, 101-110	1998	
看護系教員の性のイメージ（とらえ方）と性の臨床場面での対応に関する分析－「高齢者の性」に関する研究(5)－	<u>渡邊典子</u> ほか	新潟県立看護短期大学紀要 4, 143-152	1998	
1910年代の産児調節論の胎動	<u>渡邊典子</u>	新潟大学大学院現代社会文化研究科 現代社会文化研究 13, 171-195	1998	
骨と日本人－日本の家族と死生観－	<u>渡辺弘之</u>	新潟県立看護短期大学紀要 4, 111-125	1998	

「ボランティア」活動におけるコミュニケーション概念	<u>渡辺弘之</u>	新潟県立看護短期大学人間科学研究会誌 人間科学研究 1, 75-106	1998	
ベトナムにおける国際結婚の動向(2)	<u>渡辺弘之</u>	明治学院大学社会学部附属研究所 研究所年報 29, 29-41	1999	
「学生指導マニュアル」を使用した実習指導の効果	<u>山田正実</u> ほか	新潟県立看護短期大学紀要 4, 75-82	1998	
看護系大学図書館の公開	* <u>吉原貴子</u> <u>山田正実</u>	新潟県立看護短期大学紀要 4, 93-99	1998	新潟県立看護短期大学図書館
看護短大生におけるやる気関連諸特性と重症心身障害児(者)実習期間内の「やる気」変化との関係	<u>宮越幸代</u> <u>山本誠一</u> <u>秋山啓子</u>	新潟県立看護短期大学紀要 4, 37-45	1998	
高校生が抱く老人像に影響する要因に関する調査研究—普通科・福祉科に学ぶ高校生を対象として—	* <u>水戸美津子</u> <u>西脇洋子</u>	学校教育研究 13, 170-185	1998	山梨県立看護大学
ワインに含まれるポリフェノールの抗酸化能	<u>石沢信人</u> <u>杉田 収</u> <u>中野正春</u> ほか	新潟県立看護短期大学紀要 4, 127-133	1998	
看護学生における夫立ち会い分娩の意識調査	<u>古川亮子</u> <u>井上正美</u> ほか	新潟県立看護短期大学紀要 4, 165-172	1998	
助産婦教育課程における自宅分娩見学の効果	<u>古川亮子</u>	助産婦雑誌 53(1), 72-78	1999	

② 著書

(本学教員は下線表示)

書名	監修・編集・著者名	分担執筆の題名	出版社・分担執筆頁	地名	年
系統看護学講座 専門 12 成人看護学 9 運動器疾患患者の看護 第10版	<u>加藤光實</u> , ほか著	第1章 看護概論 A 運動器疾患患者看護の変遷 B 患者の理解 C 看護の目的と機能 第4章 患者の看護 A 援助のための知識と技術 B 症状に対する看護 C 保存的療法を受ける患者の看護 E 経過に応じた患者の看護 F 疾患をもつ患者の看護	医学書院 2-3 4-9 9-25 142-159 160-170 171-189 215-243	東京	1999

新人ナース 仕事始めのシナリオ	加藤光實編著,	2 腰椎ヘルニア患者の看護 249-255	ゆみる出版 東京	1999
		5 腰痛を訴える患者の看護 270-271		
		付章 事例による看護経過の展開		
		A 第6 頸髄不全麻痺患者の在宅における訪問看護 276-283		
		B 大腿骨転子間骨折患者の看護 284-290		
		序, この本の使い方		
		各章扉 (I~V)		
		I 職場環境になれよう 3, 6, 7, 27, 33, 109, 133		
		・職場の人・環境になれよう 8-13		
		・組織のことあれこれ 14-17		
	・仕事のこと 18			
	・入退院手続き 19-20			
	II 生活の援助			
	・食事 28-29			
	・清潔 30			
	・排泄 31-32			
	III 治療に関すること			
	・注射関係 38-50			
小林ミチ子,	I 職場環境になれよう			
	・死後の処置 21-26			
	III 治療に関すること			
	・与薬の知識 34-37			
	・機械・器具を用いて人工呼吸器 79-88			
	用手的人工呼吸器 89-95			
山田正実,	III 治療に関すること			
	・機械・器具を用いて心電計 68-72			
	心電図モニター 73-75			
	救急カート 96-99			
	・主な検査 103-104			
	血糖日内変動			
	IV 周手術期の援助			
	・術中・術後看護 術後の観察と方法 118-122			
	・回復期の看護 128-132			
	V 急変時の看護			
	・あわてずに 134-137			
	・呼吸停止の危険があったら 138-139			
	・心停止しそうだったら 140-141			
秋山智弥, ほか著	IV 周手術期の援助			
	・術中・術後看護 術後のペインコントロール 123-127			

別冊 日本臨牀領域別症候群シリーズ No.22 血液症候群Ⅲ—その他の血液疾患を含めて—	丸山雄一郎, <u>杉田収</u> , ほか著	アロアルブミン血症	日本臨牀社 561-564	大阪	1998
臨床心理学	小林芳郎編, <u>山本誠二</u> , ほか著	18章 分析心理療法	保育出版社 133-140	大阪	1998
ふれあいの心理学—医療と看護の人間関係	古川聡編著, <u>山本誠二</u> , ほか著	第2章 他者とふれあう	福村出版 36-51	東京	1998
エアロビックダンス基礎理論ハンドブック 第5版	池田美知子編著, <u>小林優子</u> , ほか著	11. エアロビックダンスと栄養	教育インフォメーションサービス 22-25	埼玉	1998
看護ケースマネジメント—クリティカルパスウェイと実践の評価—	Elaine L. Cohen, Toni G. Cesta 編著, 矢野正子, 菅田勝也 監訳, <u>秋山智弥</u> ほか 翻訳	第12章 システムのアセスメントと変革のための環境づくり 第13章 職員教育 第25章 アウトカムマネジメント戦略の開発	医学書院 MYW 123-133 134-148 290-300	東京	1998
ナースの法則 200—ベテランナースのよりどころ—	井部俊子監修, 川島みどり, 宮子あずさ 編集協力, <u>秋山智弥</u> ほか執筆協力	No.3, 24, 58, 67, 75, 78, 84, 87, 92, 108, 112, 147	日本看護協会出版会 10, 18, 35, 38, 44, 45, 47, 48, 51, 68, 69, 83	東京	1998

③ 学会発表

(本学教員は下線表示)

演 題 名	氏 名	発 表 学 会 名	発 表 年 月 日	発 表 地
ACT 測定値の静脈シスからの逆流量の検討	白坂友美 <u>加藤光實</u> ほか	第7回心血管インターベンション学会学術集会	1998.6.19	熊本市
股関節手術患者の床上排泄の自立	吉田奈苗 <u>加藤光實</u> ほか	第26回日本股関節学会	1998.10.29-10.30	北九州市
血液透析による血清アルミニウム値の変化	<u>杉田 収</u> <u>飯吉令枝</u> ほか	第38回日本臨床化学学会	1998.10.23	富山市
CHP/Hb・MB法におけるポリフェノール類の抗酸化能	<u>杉田 収</u> <u>石沢信人</u> <u>中野正春</u> ほか	第45回日本臨床病理学会	1998.11.11	高知市
Assay Using Cumene Hydroperoxide for Measuring the Antioxidant activity of Wine	<u>O. Sugita</u> , <u>N. Ishizawa</u> , et al.	The Fifth Asian Conference of Clinical Pathology	1998.11.13	Kochi Japan

腓腹神経と脛骨神経の交通	<u>関谷伸一</u> ほか	日本解剖学会 第 86 回関東地方会	1998.10.17	東京都
音変化の口頭練習が日本人中学生の聴解力に及ぼす影響	<u>中村博生</u>	語学ラボラトリー学会 (LLA) 関東支部 平成 10 年度 (1998) 第 1 回研究大会	1998.6.13	川越市
口頭練習が EFL 学習者のコミュニケーション能力に及ぼす影響－音変化の口頭練習が日本人 EFL 学習者の聴解力に及ぼす影響－	<u>中村博生</u>	上越教育大学英語教育学会 第 2 回大会	1998.7.25	上越市
妊娠前後の体重に関わる意識の研究－分娩後のアンケート調査より－	<u>佐藤留美子</u> <u>江戸谷祐子</u> <u>玉木綾子</u> <u>村山陵子</u>	第 25 回新潟母性衛生学会	1998.11.21	新潟市
思春期のヘルスコンサーンに関する研究－母親の認識と比較して－	<u>小林優子</u> ほか	第 45 回日本学校保健学会	1998.11.21	つくば市
虚血性心疾患患者の自己管理指導を行った学生の学習過程の検討	<u>金子史代</u>	第 8 回日本看護学教育学会	1998.8.5	北九州市
看護短大生の食生活と意識の比較	<u>古川素子</u> <u>山田洋子</u>	第 45 回日本栄養改善学会	1998.10.8	福井市
試作「学生指導マニュアル」の臨床看護学実習指導上の効果	<u>山田正実</u> ほか	第 18 回関東甲信越地区看護研究学会	1998.11.13	水戸市
乳幼児の服薬行動と母親の要因との関連性の検討	<u>大久保明子</u> <u>秋山啓子</u> <u>宮越幸代</u>	第 8 回日本小児看護研究学会	1998.7.11	神戸市
清涼飲料水中の抗酸化能	<u>石澤信人</u> <u>山田洋子</u> <u>杉田 収</u>	第 38 回日本臨床化学会	1998.10.22	富山市
慢性関節リウマチ患者の日常生活自立への援助と課題	<u>斉藤智子</u> <u>佐々木美佐子</u>	第 6 回新潟リウマチのケア研究会	1999.3.20	上越市
告知された後も死を拒否し続けた患者とのかかわりの一考察－グランディッド・セオリ－アプローチをもちいて－	<u>西澤かおり</u> <u>服部智</u> <u>相羽めぐみ</u> <u>太田和美</u> <u>金子史代</u>	第 3 回緩和医療を考える会	1998.7.4	上越市

④ 総説

題名	氏名	雑誌名・巻(号)・頁	年
「体位変換」「移動」の援助に必要な状況判断力	加藤光寶	看護技術 44(8), 811-813	1998
「体位変換」「移動」に必要な技術—トランスファーテクニク—	加藤光寶	看護技術 44(8), 815-823	1998
ナースはいつ“腰痛”になるかわからない—腰痛の起こるメカニズムから—	加藤光寶	エキスパートナース 13(12), 28-32	1998
腰痛を防いで患者を移送する具体的な方法	加藤光寶	エキスパートナース 13(12), 34-39	1998
赤ワインの抗酸化能	杉田 収	検査と技術 26(9), 812-813	1998

(2) その他報告・随想など

(本学教員は下線表示)

題名	氏名	掲載雑誌名・その他	年
看護実践力を育てる技術教育の試み⑤ 看護過程の学内演習の展開	<u>加藤光寶</u>	看護教育 39(5), 402-407	1998
病院において「ユーモア」はどんな効果をもつか	<u>加藤光寶</u>	クリニカルスタディ 20(1), 62-63	1999
<エピソード>ユーモアの効き目① 患者とそのお母さんでユーモア	<u>加藤光寶</u>	クリニカルスタディ 20(1), 64	1999
<エピソード>ユーモアの効き目② 実習生と患者でユーモア	<u>加藤光寶</u>	クリニカルスタディ 20(1), 65	1999
<エピソード>ユーモアの効き目③ 患者と婦長でユーモア	<u>加藤光寶</u>	クリニカルスタディ 20(1), 66	1999
対談：今年の国家試験の傾向は？	<u>加藤光寶</u>	看護教育 39(7), 510-518	1998
書評：「近代看護への道—大関和の生涯—」	<u>加藤光寶</u>	医療'98 14(11), 94	1998
看護婦国家試験はこうして合格する	<u>加藤光寶</u>	医学教育情報誌「エヌ」15	1999
ベスにふれて 病棟間交流がもたらしたものの① 支え、支えられること	<u>加藤光寶</u>	看護管理 8(8), 636-639	1998
ベスにふれて 病棟間交流がもたらしたものの⑧ 在院日数短縮後の反省と確信	<u>加藤光寶</u>	看護管理 9(3), 216-220	1999

看護実践力を育てる技術教育の試み⑥ 臨床実習における看護技術教育の実際－ 成人・母性・小児の技術－	<u>小野沢康子</u>	看護教育 39(6), 480-486	1998
国家試験対策 パワーアップ一問一答 循環器疾患と看護	<u>小野沢康子</u>	クリニカスタディ 19(5), 409-416	1998
国家試験対策 パワーアップ一問一答 血液疾患と看護	<u>小野沢康子</u>	クリニカスタディ 19(7), 651-658	1998
快適住まい環境研究会報告 第3報－住 宅改造の問題点－	<u>関谷伸一</u> <u>杉田 収</u> <u>西脇洋子</u> <u>山際和子</u> ほか	新潟県立看護短期大学紀要 4, 185-189	1998
看護実践力を育てる技術教育の試み⑧ 臨床実習指導体制の考え方と実際	<u>小林ミチ子</u>	看護教育 39(8), 706-711	1998
国家試験対策 パワーアップ一問一答 消化器系（肝臓・胆嚢・膵臓）疾患と看護	<u>小林ミチ子</u>	クリニカスタディ 19(9), 41-48	1998
国家試験対策 パワーアップ一問一答 骨・関節，女性生殖器疾患と看護	<u>村山陵子</u>	クリニカスタディ 19(10), 927-934	1998
感性工房ハートフルライフ 第1回 Let's Walking!	<u>小林優子</u>	クリニカスタディ 19(4), 362-363	1998
感性工房ハートフルライフ 第2回 バランスよく食べる	<u>小林優子</u>	クリニカスタディ 19(5), 454-455	1998
感性工房ハートフルライフ 第3回 やってみようアロマセラピー	<u>小林優子</u>	クリニカスタディ 19(6), 696-697	1998
感性工房ハートフルライフ 第4回 看護学生のためのヘルシーダイエット	<u>小林優子</u>	クリニカスタディ 19(7), 788-789	1998
感性工房ハートフルライフ 第5回 よりよい睡眠のために	<u>小林優子</u>	クリニカスタディ 19(8), 880-881	1998
感性工房ハートフルライフ 第6回 鉄欠乏性貧血に効く食事	<u>小林優子</u>	クリニカスタディ 19(9), 972-973	1998
感性工房ハートフルライフ 第7回 ストレッチングで気分をリフレッシュ	<u>小林優子</u>	クリニカスタディ 19(10), 1064- 1065	1998
感性工房ハートフルライフ 第8回 ティータイムの効用－心とからだに効く 紅茶－	<u>小林優子</u>	クリニカスタディ 19(11), 1156- 1157	1998
感性工房ハートフルライフ 第9回 とっておきのバスタイム	<u>小林優子</u>	クリニカスタディ 19(12), 1394- 1395	1998
感性工房ハートフルライフ 第10回 風邪に負けないために	<u>小林優子</u>	クリニカスタディ 20(1), 86-87	1999

感性工房ハートフルライフ 第11回 冷え症に効く生活科学ーあたたかく過ごそうー	<u>小林優子</u>	クリニカルスタディ 20(2), 178-179	1999
米国における医療費抑制下での実習事情を視察ー新潟県立看護短大の教員研修ー	<u>小林優子</u>	看護教育 40(3), 161-163	1999
クリティカルパスウェイを用いた人工股関節全置換術入院費用の分析	<u>秋山智弥</u>	平成9年度厚生省看護対策総合研究事業研究報告書「看護サービスの経済的評価に関する研究」, 25-82	1998
バスにふれて 病棟間交流がもたらしたもの④ 誇りを支えることの誇りー看護管理の達人たちー	<u>秋山智弥</u>	看護管理 8(11), 882-887	1998
書評:「市場原理に揺れるアメリカの医療」	<u>秋山智弥</u>	看護管理 9(3), 212	1999
心臓カテーテルによる検査及び治療を受ける患者へのオリエンテーションの実態調査	<u>金子史代</u> <u>小野沢康子</u> <u>山田洋子</u> <u>島村澄江</u> <u>山際和子</u>	新潟県立看護短期大学共同研究費による研究報告書(第一報)(平成9年・10年度)	1999
国家試験対策 パワーアップー問ー答 消化器系(胃・腸)疾患と看護	<u>山田洋子</u>	クリニカルスタディ 19(8), 743-750	1998
デンマークの老人ホーム・高齢者住宅の現状に関する報告ーロスキレ市の高齢者福祉施設の視察よりー	<u>水口陽子</u> <u>田中キミ子</u>	新潟県立看護短期大学紀要 4, 173-184	1998
看護実践力を育てる技術教育の試み④ 看護の原体験をつくる基礎看護学実習	<u>島村澄江</u> <u>金子史代</u> <u>水口陽子</u> ほか	看護教育 39(4), 314-318	1998
書評:「地域生活支援のSST」	<u>平澤則子</u>	保健婦雑誌 54(6), 519	1998
書評:「ヘルスプロモーションーPRECEDE-PROCEEDモデルによる活動の展開ー」	<u>平澤則子</u>	保健婦雑誌 54(8), 687	1998
臨床実習指導に生かすデータベース試論	<u>大久保明子</u> <u>石沢信人</u> <u>井上正美</u> <u>飯吉令枝</u> <u>島村澄江</u> ほか	新潟県立看護短期大学紀要 4, 191-205	1998
看護教育におけるコンピュータ・ネットワーク活用の現状と今後の展望	<u>宮越幸代</u> ほか	Quality Nursing 4(9), 786-792	1998

(3) 講演及び研修会講師

題 名	氏 名	講 演 会 名	年 月 日	場 所
看護研究 ①②③	加藤光寶	新潟県立十日町病院 看護部研修	1998.5.16, 9.26, 12.5	十日町 市
看護研究 ①②③	加藤光寶	国立高田病院 看護部 研修	1998.5.26, 7.28, 9.22	上越市
看護研究 ①②③	加藤光寶	国立療養所犀潟病院 看護部研修	1998.6.17, 7.22, 8.26	大潟町
看護過程の記録 ①②	加藤光寶	知名堂病院 看護部研 修	1998.7.8, 1999.2.16	上越市
看護論－ヘンダーソンを中心に－	加藤光寶	新潟県厚生農業協同 組合連合会中央総合 病院看護教育研修II	1998.7.21	長岡市
看護理論に基づいた看護過程	加藤光寶	全国准看教育新潟県 支部教員研修	1998.8.22	新潟市
実習指導の方法 ①②③	加藤光寶	新潟県福祉保健部 平 成 10 年度実習指導者 養成講習会	1998.9.16	新潟市
婦長のリーダーシップ	加藤光寶	新潟県看護協会 研修 会	1998.9.18	新潟市 会
看護の専門性	加藤光寶	新潟県立中央病院 高 等看護学校同窓会 総 会	1998.10.24	上越市
関わり技法	加藤光寶	栃木県看護協会 総会	1998.11.20	宇都宮 市
看護過程を進める関わり技法	加藤光寶	全国准看教育新潟県 支部教員研修	1998.11.28	新潟市
問題解決	加藤光寶	心臓血管研究所附属 病院看護部研修	1998.11.6- 11.7	東京都
調査研究	加藤光寶	新潟県看護協会 研修 会	1998.12.12	新潟市 会
血液透析と飲料水そして食べ物	杉田 収	新潟県立中央病院 腎 友会	1998. 8. 2	上越市
命は食にあり－食べ物・飲み物から摂取 する抗酸化能物質－	杉田 収	新潟県立中央病院 腎 友会	1999. 3. 28	上越市
介護保険導入で高齢者を支えるサービス はどう変わるか	佐々木美佐子	新潟県看護協会十日 町地区協会総会	1998.5.23	十日町 市

面接技術	佐々木美佐子	新潟県看護協会 訪問看護婦養成講習会	1998.7.21	長岡市
保健婦の専門性をどう教えるか	佐々木美佐子	全国保健婦教育機関協議会 平成 10 年度保健婦（士）教育夏季研修会	1998.7.31	東京都
面接技術	佐々木美佐子	新潟県看護協会 訪問看護婦養成講習会	1998.8.6	新潟市
面接技術	佐々木美佐子	新潟県看護協会 訪問看護婦養成講習会	1998.8.7	新潟市
保健婦教育課程	佐々木美佐子	新潟県福祉保健部 平成 10 年度実習指導者養成講習会	1998.9.28	新潟市
講義：実習指導の実際－在宅看護論実習－	佐々木美佐子	新潟県福祉保健部 平成 10 年度実習指導者養成講習会	1998.10.2	新潟市
調査研究のすすめ方	佐々木美佐子	厚生連糸魚川総合病院 看護部研修会	1998.10.17	糸魚川市
看護研究の基礎－調査研究のすすめ方	佐々木美佐子	済生会三条病院 看護部研修	1998.10.24	三条市
学校保健と地域保健の連携	佐々木美佐子	新潟大学養護教諭特別別科 平成 10 年度養護教育実践研究	1998.12.18	新潟市
保健所と市町村が行う保健事業と保健婦（士）活動の展開	佐々木美佐子	新潟県福祉保健部 市町村保健婦（士）等新任者研修会	1999.1.8	新潟市
在宅看護実習の展開と課題	佐々木美佐子	新潟県福祉保健部 在宅看護論実習指導者研修会	1999.2.19	新潟市
これからの精神科看護に期待されるもの	長野 勝	日本精神病院協会主催 東日本地区 学術研修会	1998.9.18	新潟県
スクールカウンセラーの現状と課題	山本誠一	上越市立教育センター主催 学校訪問カウンセラー研修会	1998.5.21	上越市
中学生のころ	山本誠一	新井中学校 PTA 保健体育部主催 平成 10 年度「中学生の健康を考える会」講話	1998.7.23	新井市

心の発達とその問題	山本誠一	上越市女性サポートセンター主催 保育サービス講習会	1998.10.21	上越市
不適応生徒への保健室での関わり方について	山本誠一	妙高高原町学校研養護部会研修会	1998.11.22	妙高高原町
不登校（傾向）の子どもへの家庭での対応について	山本誠一	新井中学校 平成 10 年度第 2 回保護者会	1998.11.30	新井市
健康管理	村山陵子	平成 10 年度すくすく子育てセミナー講座	1998.7.2	上越市
乳児保育の基本について	村山陵子	上越市公私立保育園調理員研修会	1998.7.16	上越市
研究計画書作成について	小林優子	厚生連刈羽郡総合病院 看護部教育委員会研修会	1998.11.4	柏崎市
地域看護学－老人保健施設における看護の実際－	秋山智弥	東京大学全学一般教養ゼミナール「看護学入門」	1998.8.5	東京都
医療の基礎知識	秋山智弥	上越市老人介護講習会（ヘルパー 3 級対応コース）	1998.8.31	上越市
心理面への援助方法	秋山智弥	上越市老人介護講習会（ヘルパー 3 級対応コース）	1998.8.31	上越市
老年期精神科看護概論	秋山智弥	国立療養所犀潟病院 老人性痴呆疾患対策研修	1998.10.6	大潟町
研究計画書の書き方	秋山智弥	新潟県立新発田病院 看護部教育委員会研修会	1998.10.24, 11.28	新発田市
在宅ケアと家庭の機能①②	秋山智弥	上越教育大学 全学一般教科「家庭科」特別講義	1998.12.9, 12.16	上越市
講義：実習指導の実際－成人看護実習（慢性期）－	金子史代	新潟県福祉保健部 平成 10 年度実習指導者養成講習会	1997.10.8-10.28	新潟市
演習：実習指導の実際－成人看護学実習－	金子史代	新潟県福祉保健部 平成 10 年度実習指導者養成講習会	1997.10.9	新潟市
看護研究のまとめ	金子史代	新潟県済生会三条病院 看護部研修	1998.2.22-3.31	三条市

身体の発育と病気	秋山啓子	上越市女性サポートセンター平成10年度保育サービス講習会	1998.10.7	上越市
安全・事故	秋山啓子	上越市女性サポートセンター平成10年度保育サービス講習会	1998.10.14	上越市
講義：実習指導の実際－小児看護学実習－	秋山啓子	新潟県福祉保健部 平成10年度実習指導者養成講習会	1998.10.16	新潟市
リプロダクティブヘルス/ライツ	矢坂陽子	'98 wake up じょうえつ	1999.1.9	上越市
コミュニティ・ミーティングの方法	平澤則子	上越市健康づくり推進課 平成10年度職員研修	1998.7.7	上越市
命の始まり	安田かづ子	大手町小学校6年生勉強会	1998.5.12	上越市
パートナーとの生き方を考えてみませんか？	安田かづ子	見附市今町公民館レディスセミナー	1998.7.25	見附市
思秋期をゆたかに。そして素敵にすごすあなたに！…どこでもできる尿失禁予防体操も一緒に…	安田かづ子	平成10年度中越地区母子保健推進員研修会	1998.7.31	柏崎市
女性の体調を卵巣機能から考える	安田かづ子	越路町保育研究会講習会	1998.10.28	越路町
命を考えてみよう	安田かづ子	上越市立春日小学校第4学年PTA行事「性教育講演会」	1998.11.19	上越市
思秋期をゆたかに、そして素敵にすごすために	安田かづ子	三条市市民福祉部 健康推進員講演会	1998.12.14	三条市
あなたの思秋期をすてきに…	安田かづ子	中之島町食生活改善推進協議会研修会	1999.3.20	中之島町
ワインの抗酸化能測定	石澤信人	第16回日本臨床化学会甲信越支部総会	1998.6.7	妙高高原町

(4) 学会及び社会での活動

氏名	事項	就任年
小野沢康子	日本サイコオンコロジー学会世話人	1997～
田中キミ子	テレトピア・在宅ケア研究会委員長	1998～
杉田 収	日本電気泳動学会評議員	1975～
	日本自動化学会評議員	1975～
	生物試料分析学会評議員	1991～
	日本臨床病理学会評議員	1991～
	日本臨床化学会評議員	1992～
	日本臨床病理学会臨床化学専門部会世話人	1993～
	日本臨床化学会甲信越支部長	1997～
	上越市福祉のまちづくり条例検討委員会委員	1998～
中野正春	新潟地域留学生等交流推進会議運営委員会委員	1996～
佐々木美佐子	上越在宅ケア研究会幹事	1996～
	上越市介護保険事業計画策定委員会委員	1998～
	全国保健婦教育機関協議会理事	1998～
山本誠一	文部省スクールカウンセラー活用調査研究委託事業スクールカウンセラー	1997～
	新潟県臨床心理士会学校心理臨床委員会委員	1996～
	新潟県カウンセラー学校派遣事業 派遣カウンセラー	1996～
中村博生	関東甲信越英語教育学会理事	1990～
水口陽子	テレトピア・在宅ケア研究会委員	1998～
小林恵子	社団法人新潟県看護協会学会委員	1997～
	上越市美しいまちづくり環境アドバイザー	1998～
平澤則子	社団法人日本看護協会先駆的保健活動小委員会委員	1996～
	糸魚川市高齢者心とからだの健康作り検討委員会オブザーバー	1998～
渡邊典子	新潟県看護協会思春期電話相談委員	1998～

(5) 科学研究費による研究

研究種目	研究課題名	本学研究者名	研究代表者所属	期間
文部省，基礎研究 C(2)	抗酸化能の新測定法とその臨床応用に関する研究	杉田 収	新潟県立看護短期大学	1997-1998

(6) 教員海外研修

氏名	研修テーマ	研修地名	期間
加藤光寶 山田正実 小林ミチ子 小林優子 秋山智弥	米国医療費抑制下での臨床看護および看護学教育の現状－ミネソタ大学看護学部および周辺病院とボストン・ベスイスラエル・ディコネス・メディカルセンター視察研修－	米国（ミネソタ州ミネアポリス、マサチューセッツ州ボストン）	1998.12.18-12.29
佐々木美佐子	カナダ地域看護・看護教育視察研修	カナダ（コロンビア州ピクトリア大学）	1998.8.23-8.30
水口陽子	デンマークの高齢者福祉施設視察研修－在宅ケアシステムと老人ホーム宿泊研修－	デンマーク（コペンハーゲン・ロスキレ）	1998.7.19-7.29
渡辺弘之	National University In Hochiminh City, College of Social Science and Humanities	Hochiminh city, Vietnam	1998.8.2-8.30
渡辺弘之	National Center of Social Science and Human Studies	Hanoi, Vietnam	1998.9.1-9.12

(7) 共同研究

(本学教員は下線表示)

題名	研究者名	* 所属	研究開始年	期間
リウマチ疾患患者の退院受容に影響する要因に関する研究	加藤光寶 小林ミチ子 ほか		1998	2年
臨地実習における実習環境の現状調査	加藤光寶 小野沢康子 田中キミ子 長野勝 村山陵子 飯吉令枝		1998	1年
在宅ケアを支える「住まい環境」の改善に関する研究	杉田 収 関谷伸一 山際和子 西脇洋子 *水戸美津子	山梨県立看護大学	1997	3年
新しい抗酸化能測定法の開発	杉田 収 中野正春 石澤信人 *松戸隆之 *岡田正彦	新潟大学医学部検査診断学	1998	3年

助産婦教育における分娩実習の指標の検討	<u>中野正春</u> <u>村山陵子</u> <u>渡邊典子</u>		1998	2年
市町村保健活動活動における保健所の地域コンサルテーション機能に関する研究	<u>佐々木美佐子</u> <u>矢坂陽子</u> <u>小林恵子</u> <u>平澤則子</u> <u>飯吉令枝</u> <u>斎藤智子</u>		1998	1年
大学生の「ボランティア」活動におけるコミュニケーションの特質	<u>山本誠一</u> <u>中村博生</u> <u>渡辺弘之</u>		1998	1年
術後癒着性イレウス発症に関連する要因の研究	<u>小林ミチ子</u> <u>山田正実</u> * <u>竹原則子</u>	新潟県立中央病院	1998	1年
循環器疾患患者の検査及び治療に関連した不安への援助	<u>金子史代</u> <u>小野沢康子</u> <u>山田洋子</u> <u>島村澄江</u> <u>山際和子</u>		1997	2年
糖尿病患者のライフスタイル変容に関わる要因の検討	<u>山田洋子</u> <u>小野沢康子</u> <u>金子史代</u> <u>島村澄江</u> <u>山際和子</u>		1998	1年
里帰り分娩に対する夫と妻の意識	<u>小林美代子</u> <u>矢坂陽子</u> <u>井上正美</u>		1998	1年

11 大学の公開

(1) 公開講座

本学は、広く県民に健康と看護に関する知識の普及と地域の看護関係者の資質の向上に寄与することを目的とし、一般県民を対象とした一般公開講座と看護に関する職業に従事する者を対象とした専門公開講座の2講座を実施した。

① 専門公開講座

- ・テーマ 「看護研究の基礎」

基礎的な看護研究のプロセスを体験し、看護現場における問題解決に役立てる。

- ・受講者 45人

- ・日程及び内容

日 時間	内容	講 師
第1日目 9:00~ 9:30 7/13 9:30~10:30 (月) 10:40~12:00 13:00~16:00	開講式オリエンテーション 講義 「臨床看護研究」 講義 「看護研究の方法」 演習 「コンピュータ操作の基礎」 演習 「統計学パッケージHALBAUについて」	学 長 斎 藤 秀 晃 教 授 加 藤 光 寶 教 授 佐 々 木 美 佐 子 嘱託員 関 根 加 代 子 教 授 小 野 沢 康 子
第2日目 7/14 9:00~12:00 (火) 13:00~16:00	<グループワーク> 演習「データの考察」 演習「作図、作表」	8グループ編成 1 加 藤 教 授、小林優助教授 島 村 講 師 2 小 野 沢 教 授、秋山智助教授 平 澤 講 師 3 田 中 教 授、金子 講 師 渡 辺 典 講 師 4 伊 藤 教 授、秋山啓 講 師 飯 吉 講 師 5 佐 々 木 教 授、山田洋 講 師 安 田 講 師
第3日目 7/15 9:00~12:00 (水) 13:00~14:20 14:30~14:40 15:00~15:45	<グループワーク> 演習「報告資料の作成」 演習「グループワークのまとめ」 本学助手のまとめ 閉講式 修了証書授与	6 長 野 助 教 授、水 口 講 師 宮 越 助 手 7 小 林 ミ 助 教 授、矢 坂 講 師 石 沢 助 手 8 村 山 陵 助 教 授、小 林 恵 講 師 井 上 助 手 演習補助員 山田正助手 大久保助手 西脇助手 古川助手 斎藤助手 和田助手 太田助手

② 一般公開講座

- ・テーマ 『音から入るやさしい英語』
- ・講演 助教授 中村 博生
- ・受講者 100人
- ・日程 平成10年11月21日(土)
- ・会場 新潟県立看護短期大学 第1合同講義室

12 学生自治会 《平成6年5月30日設立》

(1) 大学祭『桜桃祭』開催

- ・日時：平成10年11月21日(土)
- ・来校者：約700人
- ・テーマ：「ちょっとだけ看護婦体験」
 - 「すまいにまつわるエトセトラ……住まい研究会」
 - 「ボランティアサークル活動内容発表」
 - 「水に関する資料の展示と利き水……水研究会」
 - 「献血事業」
- ・一般公開講座：「音から入るやさしい英語」
- ・お笑いライブ「NAMARA」

(2) サークル活動

- サークル名
- | | |
|-------------|---------|
| ・バトミントン | ・ソフトテニス |
| ・バスケットボール | ・NC-NET |
| ・もしもし亀さん応援団 | ・バレーボール |
| ・快適住まい環境研究会 | ・ボランティア |
| ・水研究会 | ・合唱サークル |
| ・エアロビクス | |

資 料

主要行事日誌

4月1日(木)	辞令交付…教員5名採用、教員6名転任、事務職員4名転任
6日(月)	第5回入学式
7日(火)～8日(水)	在学生ガイダンス、学生健康診断前期授業開始、入学生健康診断
8日(水)～9日(木)	入学生ガイダンス…学内及び国立妙高少年自然の家で実施
21日(火)	定期監査(書記)
23日(木)	全国公立短期大学協会医療看護系協議会事務局長部会 ……田中事務局長、新保副参事出席
5月7日(木)	定期監査(委員)
8日(金)	開学記念日
12日(火)	第4回戴帽式
26日(火)～27日(水)	全国公立短期大学協会第47回通常総会 …富士吉田市で開催 斎藤学長、田中事務局長、 新保副参事、本間主任出席
6月18日(木)～19日(金)	全国公立短期大学協会関東ブロック会議 …伊香保温泉で開催、斎藤学長、田中事務局長、 田中総務課長、新保副参事出席
7月8日(木)	大学説明会……県内の高校38校参加
11日(土)	夏季休業
～8月31日(月)	
13日(月)～15日(水)	全国公立短期大学協会事務職員中央研修会議
13日(月)～15日(水)	専門公開講座
14日(火)	大蔵省(関東財務局)実態調査
16日(木)～17日(金)	第26回全国公立短期大学協会医療看護系協議会 …福井市で開催 斎藤学長、田中事務局長、加藤学科長、 小野沢教授、田中教授、佐々木教授、伊藤教授、中野教 授、新保副参事、中島図書学生係長出席
16日(木)～17日(金)	2年生保健体育(実技)集中授業 …国立妙高少年自然の家で実施
21日(火)	全国公立短期大学協会関東ブロック担当者会議
31日(金)	年報第3号発行
8月6日(木)	学校説明会……高校生45名参加
20日(木)	学校説明会……高校生38名参加
27日(木)	学校説明会……高校生62名参加
27日(木)～28日(金)	全国公立短期大学協会事務局長会議・幹部研修会 …田中事務局長、加藤学科長
9月17日(木)～29日(火)	前期試験
28日(月)～29日(火)	1年生解剖見学…新潟大学医学部で人体解剖見学

10月1日(木)	後期授業開始
8日(木)	消防計画に基づく総合訓練実施
9日(金)	辞令交付……事務職員1名転任
13日(火)	新潟県議会厚生環境委員会委員視察
15日(木)~16日(金)	全国公立短期大学協会学長会 …国立教育会館で開催 斎藤学長出席
26日(月)	第5回大学運営懇談会
11月4日(木)~10日(火)	専攻科推薦入試願書受付…応募者65人
16日(月)~20日(金)	看護学科推薦入試願書受付…応募者80人
21日(土)	大学祭、一般公開講座
26日(木)	全国公立短期大学協会事務局長会議…田中総務課長出席
29日(日)	専攻科推薦入試日………受験者64人
30日(月)	紀要第3巻発行
12月1日(火)	看護学科長選挙
4日(金)	看護学科長再選挙
4日(金)	専攻科推薦入試合格発表…合格者29人
13日(日)	看護学科推薦入試日………受験者80人
16日(木)~22日(火)	専攻科一般入試願書受付…応募者201人
18日(金)	看護学科推薦入試合格発表…合格者30人
21日(月)	冬季休業
~1月10日(日)	
1月14日(木)	出納局会計実地検査
18日(月)~22日(金)	看護学科一般入試願書受付…応募者264人
24日(日)	専攻科一般入試日………受験者175人
27日(木)	全国公立短期大学協会関東ブロック学長会議 …前橋市で開催 田中事務局長出席
29日(金)	専攻科一般入試合格発表…合格者31人
2月1日(月)~5日(木)	専攻科後期試験
2日(火)	公立大学・公立短期大学及び公立高等専門学校事務局長等会議
8日(月)~17日(木)	看護学科後期試験
18日(木)~19日(金)	2年生保健体育(実技)集中授業 …国立妙高少年自然の家で実施
24日(木)	看護学科一般入試日………受験者210人
25日(木)	保健婦国家試験
26日(金)	助産婦国家試験
28日(日)	看護婦国家試験

3月5日(金)	看護学科一般入試合格発表…合格者 80 人
8日(月)	上越財務事務所出納課指導検査
12日(金)	第3回卒業式・第2回修了式
17日(水)	定期監査(書記)
21日(月)~31日(水)	春季休業
24日(水)	定期監査(委員)
31日(水)	退職辞令交付… 5 名

教授会・委員会の活動

(1) 教授会の活動

- 第 1 回 (10. 4. 6) ・平成 10 年度主要推進事項について
・学生の復学について
- 第 2 回 (10. 5.11) ・平成 10 年度主要推進事項について
・平成 10 年度教員研究費・教材費の配分について
・専攻科の学外実習配置表について
・奨学生の選考について
・新入生アンケートの実施について
・平成 10 年度専門公開講座の実施について
- 第 3 回 (10. 6. 1) ・平成 11 年度学生募集要項について
・大学説明会について
・学校案内パンフレットの作成について
・カリキュラム改正について
・学生の退学について (追加)
- 第 4 回 (10. 7. 6) ・専攻科前期試験の時間割りにについて
・新入生ガイダンスのアンケート調査について
- 第 5 回 (10. 9. 7) ・看護学科長候補者選挙管理委員会の設置について
・看護学科前期試験の時間割りにについて
・専攻科学外実習配置表の一部変更について
・大学学則実施細則の一部改正 (証明書交付申請書の様式変更) について
・学生の休学及び退学について
- 第 6 回 (10.10. 5) ・教員審査委員会 (昇任) の設置について
・図書館貸出冊数の変更について
- 第 7 回 (10.11. 2) ・教員審査委員会の設置について (追加)
・平成 11 年度学年暦について
・学外者に対する図書館利用の内規について
- 第 8 回 (10.11.16) ・教員の昇任人事について
・学科長選挙について
・平成 11 年度専攻科推薦入試選考試験出願者状況について
- 第 9 回 (10.12. 3) ・平成 11 年度専攻科推薦入学者選考試験合格者の決定について
- 第 10 回 (10.12. 7) ・学科長候補者の決定について
- 第 11 回 (10.12.17) ・平成 11 年度看護学科推薦入学者選考試験合格者の決定について
- 第 12 回 (11. 1.11) ・平成 11 年度ガイダンス並びに健康診断について
- 第 13 回 (11. 1.28) ・平成 11 年度専攻科一般入学者選考試験合格者の決定について

- 第 14 回 (11. 2. 1)
 - ・ 教員審査委員会（採用）の設置について
 - ・ 新潟県立看護短期大学ホームページの開設に伴う申合せについて
 - ・ 平成 11 年度時間割りについて
 - ・ 後期試験日程について
- 第 15 回 (11. 3. 1)
 - ・ 履修規程（履修届）の変更について
 - ・ 平成 11 年度各種委員会及びクラスディレクターの構成方針について
 - ・ 卒業・修了判定について
- 第 16 回 (11. 3. 4)
 - ・ 専攻科実習配置計画について
 - ・ 看護学科長の選考について（追加）
 - ・ 平成 11 年度看護学科一般入学者選考試験合格者の決定について
- 第 17 回 (11. 3.19)
 - ・ 新潟県立看護短期大学看護学科長選考規程について
 - ・ 看護学科長候補者の決定について（追加）
 - ・ 進級判定について
 - ・ 平成 11 年度各委員会・クラスディレクターの構成について

(2) 各委員会の活動

① 企画委員会

- 第 1 回 (10. 4. 1)
 - ・ 企画委員会正副委員長について
 - ・ コンピューター部会について
- 第 2 回 (10. 4.13)
 - ・ 平成 10 年度主要推進事項について
 - ・ 教員研究費の配分について
 - ・ 教材費の配分について
- 第 3 回 (10. 5.18)
 - ・ 国立大学の授業料の改定に伴う大学条例の一部改正について
 - ・ 教員研究員の海外派遣について
 - ・ コンピュータ部会の規程について
- 第 4 回 (10. 6. 8)
 - ・ コンピュータ部会の活動報告について
 - ・ 情報科学室の機器更新に伴う機種選定に関する諸注意等について
- 第 5 回 (10. 8.24)
 - ・ 教員研究員の海外派遣について
 - ・ コンピュータ部会関係について
 - ・ 情報機器の更新について
- 第 6 回 (10. 9.14)
 - ・ 新潟県立看護短期大学名誉教授称号授与規程策定について
 - ・ コンピュータ部会関係について
 - ・ 予算要求について

- 第 7 回 (10.10. 1)
 - ・学則の一部改正について
 - ・授業料減免に関する事務取扱要領の一部改正について
 - ・図書館利用規程の一部改正について
 - ・平成 11 年度予算要求について
- 第 8 回 (10.10.12)
 - ・新潟県立看護短期大学ホームページについて
 - ・平成 11 年度予算要求について
- 第 9 回 (10.11. 9)
 - ・新潟県立看護短期大学ホームページについて
 - ・平成 11 年度予算要求について
 - ・学校開放時間の延長等について
- 第 10 回 (10.12.14)
 - ・新潟県立看護短期大学ホームページについて
 - ・学生委員会が実施する学生に対する施設開放のアンケートについて
- 第 11 回 (11. 1.18)
 - ・新潟県立看護短期大学ホームページについて
 - ・学生委員会が実施する学生に対する施設開放のアンケートについて
 - ・研究費等の執行状況について
 - ・卒業式・修了式について
- 第 12 回 (11. 2. 8)
 - ・平成 11 年度の各委員会構成・クラスディレクターについて
 - ・新潟県立看護短期大学ホームページについて
 - ・平成 11 年度予算内示状況について
 - ・平成 11 年度教員研究費の配分について
 - ・平成 11 年度教材費の配分について
 - ・卒業式・修了式の日程等について
 - ・退職・卒業・修了者の NCN-net 利用について
- 第 13 回 (11. 2.22)
 - ・新潟県立看護短期大学看護学科長選考規程について
- 第 14 回 (11. 3. 1)
 - ・新潟県立看護短期大学看護学科長選考規程について
- 第 15 回 (11. 3. 8)
 - ・平成 11 年度の各委員会構成・クラスディレクターについて
 - ・教育研究費及び教材費の配分について
 - ・情報科学教室、図書館及び看護学実験室のコンピューター更新について
 - ・中央病院職員のコンピューター研修について

② 教務委員会

- 第 1 回 (10. 4. 2)
 - ・委員長、副委員長選出
 - ・定例委員会と書記順について
- 第 2 回 (10. 4.27)
 - ・委員会活動の年間予定について
 - ・選択科目の履修届出状況について
 - ・試験監督について

- 第 3 回 (10. 5.18) ・委員の役割分担について
- 第 4 回 (10. 6.15) ・保健体育の集中授業について
 - ・前記試験日程案と後期実習配置について
 - ・試験監督配置方法について
- 第 5 回 (10. 6.29) ・専攻科前期試験時間割りにについて
 - ・体育集中授業の日程 (夏季・冬季) について
 - ・非常勤講師について
- 第 6 回 (10. 7.27) ・看護学科の前期試験時間割及び 1 日の試験科目数について
 - ・証明書交付申請書の様式改正について
 - ・非常勤講師の変更について
 - ・シラバスの作成について
- 第 7 回 (10. 9.14) ・平成 11 年度からの新カリキュラムについて
- 第 8 回 (10.10.19) ・シラバスの作成について
 - ・平成 11 年度非常勤講師について
 - ・平成 11 年度学年暦について
 - ・自己点検・自己評価について
- 第 9 回 (10.11.20) ・平成 11 年度非常勤講師について
 - ・前期試験状況について
 - ・新カリキュラムにおける講義時間の問題について
- 第 10 回 (10.12.21) ・平成 11 年度時間割について
 - ・後期試験日程について
 - ・自己点検・自己評価について
- 第 11 回 (11. 1.20) ・平成 11 年度時間割について
 - ・体育授業冬季集中講義の実施案について
 - ・後期試験日程について
 - ・平成 11 年度非常勤講師予定者について
 - ・平成 11 年度看護学科実習案について
 - ・履修届用紙の変更について
- 第 12 回 (11. 2.15) ・平成 11 年度非常勤講師予定について
 - ・学生便覧について
 - ・自己点検・自己評価について
- 第 13 回 (11. 3.15) ・看護学科進級判定について
 - ・看護短期大学ホームページ掲載内容について
 - ・自己点検・自己評価について

③ 学生委員会

- 第 1 回 (10. 4. 2) ・委員長、副委員長の選出および委員会の開催日程について
 - ・学外ガイダンス全体打ち合わせについて

- 第 2 回 (10. 4. 6) ・ 学外ガイダンス詳細計画について
- 第 3 回 (10. 4.27) ・ 平成 10 年度の保健室の管理について
 - ・ 奨学金の手続き及び授業料の減免について
 - ・ 平成 10 年度ガイダンスの総括
 - ・ サークル活動について
 - ・ 戴帽式に伴う祝賀会について
- 第 4 回 (10. 5. 8) ・ 平成 10 年度の奨学生選考について
- 第 5 回 (10. 5.25) ・ 平成 11 年度ガイダンス検討について
 - ・ 学生の健康診断の結果概要について
 - ・ 奨学金の手続きの最終結果及び授業料減免申請について
 - ・ 学生の学習支援、サークル活動支援について
- 第 6 回 (10. 6.22) ・ 平成 10 年度新入生ガイダンスのアンケート調査について
 - ・ 夏季休業中の生活指導について
 - ・ 学生の学習支援、サークル活動支援について (継続)
 - ・ 食堂委員会の運営について
- 第 7 回 (10. 9.28) ・ 平成 10 年度新入生ガイダンス、アンケート集計結果について
 - ・ 平成 11 年度新入生ガイダンスの計画方針について
 - ・ 平成 10 年度「大学祭」の計画概要について
- 第 8 回 (10.10.26) ・ 平成 10 年度「大学祭」の対応について
 - ・ 平成 11 年度新入生ガイダンスの計画方針について (継続)
 - ・ 学生保険の加入について
 - ・ 夏季休業中の施設利用状況について
- 第 9 回 (10.11.30) ・ 「大学祭」の実施概要及び総括について
 - ・ 奨学金 (2 次募集)、後期授業料減免について
 - ・ 大学施設解放についてのアンケート (案) について
 - ・ 食堂アンケート箱設置について
- 第 10 回 (10.12.22) ・ 平成 11 年度学内・学外ガイダンスについて
 - ・ 食堂アンケート集計結果について
 - ・ 大学施設解放アンケートの再検討について (継続)
- 第 11 回 (11. 1.25) ・ 平成 11 年度学外・学内ガイダンス詳細検討について
 - ・ 大学施設解放アンケートについて (継続)
 - ・ 保健室の利用状況について
- 第 12 回 (11. 2.22) ・ 平成 11 年度学外・学内ガイダンス詳細検討について (継続)
 - ・ 大学施設解放アンケートの集約について
 - ・ 食堂アンケート結果の集約について
 - ・ 学生のアルバイトについて
 - ・ 保健室の利用状況の集約について
- 第 13 回 (11. 3.23) ・ 平成 11 年度学外・学内ガイダンス詳細検討について (継続)
 - ・ 大学施設解放アンケートの集約結果について

④ 入試委員会

- 第 1 回 (10. 4. 6) ・ 委員長、副委員長選出
・ 定例会日の決定について
- 第 2 回 (10. 4.20) ・ 平成 10 年度入試日程について
・ 新入生へのアンケート実施について
・ 試験方法の検討
- 第 3 回 (10. 5.12) ・ 大学説明会について
・ 新入生へのアンケートについて
- 第 4 回 (10. 5.18) ・ 募集要項について
- 第 5 回 (10. 5.25) ・ 平成 11 年度学生募集要項について
・ 大学説明会説明要領の検討
・ 大学案内パンフレットについて
・ 新入生アンケート結果の説明
- 第 6 回 (10. 6. 8) ・ 入試日程について
・ 大学案内について
・ 文部省会議復命
・ 入学者選考試験実施委員会との関係について
- 第 7 回 (10. 7.13) ・ 大学案内について
・ 大学説明会結果について
- 第 8 回 (10. 9.14) ・ 大学案内の結果について
・ 推薦入学者選考試験実施要領について
・ 県高等学校長会入試懇談会について
- 第 9 回 (10.10.19) ・ 専攻科推薦入学者選考試験実施要領について
・ 入試役割分担について
・ 第 2 回入学者選考試験実施委員会について
・ 個人情報保護条例に基づく検討
- 第 10 回 (10.11. 9) ・ 専攻科一般入学者選考試験実施要領について
・ 個人情報保護条例による入学者選考試験開示方法
- 第 11 回 (10.12.14) ・ 看護学科一般入学者選考試験実施要領について
・ 自己点検・自己評価について
- 第 12 回 (11. 1.18) ・ 自己点検・自己評価の担当決定
- 第 13 回 (11. 2. 8) ・ 自己点検・自己評価分担作業の問題点の確認
- 第 14 回 (11. 3. 8) ・ 自己点検・自己評価の中間報告

⑤ 図書委員会

- 第 1 回 (10. 3.30) ・ 委員長、副委員長の選出及び委員会の開催日程について
- 第 2 回 (10. 4.20) ・ 平成 9 年度図書委員会引継ぎ事項の確認について
 - ・ 平成 10 年度図書委員会年間計画について
 - ・ 平成 10 年度図書館費について
 - ・ 図書館だよりについて
- 第 3 回 (10. 5.25) ・ 平成 10 年度定期選書の実施計画について
 - ・ 備品購入計画について
 - ・ 雑誌購入計画について
 - ・ 寄贈図書の整理について
 - ・ 公衆衛生看護学校図書の処分について
- 第 4 回 (10. 6.15) ・ 図書館システム更新検討について
- 第 5 回 (10. 7. 9) ・ 平成 10 年度定期選書について
 - ・ 図書館システム更新検討について (継続)
- 第 6 回 (10. 9.21) ・ 図書館システム更新検討について (継続)
 - ・ 平成 11 年度の雑誌購入について
 - ・ 定例選書について
 - ・ 蔵書点検の実施結果について
 - ・ 図書館利用規程の改正 (案) について
 - ・ 学外者への図書館利用内規の見直しについて
- 第 7 回 (10.10.19) ・ 学外者への図書館利用内規の見直しについて (継続)
 - ・ 図書館の運営方針の変更について
 - ・ 寄贈図書の取扱いについて
 - ・ 平成 10 年度図書館費の執行状況について
 - ・ 定例選書について
- 第 8 回 (10.11.16) ・ 第 2 回定期選書の実施について
 - ・ 図書館費の配分検討について
 - ・ 学生の貸出増冊に伴う参考書の増冊について
 - ・ 年末の図書館休館日について
- 第 9 回 (11. 1.18) ・ 第 2 回定期選書の実施について (継続)
 - ・ 図書館費の配分検討について (継続)
 - ・ 図書館だよりについて
- 第 10 回 (11. 2.15) ・ 第 2 回定期選書について
 - ・ 平成 11 年度図書館システム予算について
 - ・ 春季休業中の図書館休館日について
- 第 11 回 (11. 3.15) ・ 図書委員会総括及び引継ぎ事項について
 - ・ 平成 10 年度図書館費執行状況について
 - ・ 図書館だよりについて